

都市経営市民会議での意見に対する対応について

資料 5

No.	区分	発言者	該当施策	御意見内容	回答
21	都市計②	沖本委員	全般	資料6「地域幸福度指標（個別調査）の結果報告について」について、客観指標の偏差値が高く、主観指標の偏差値が低い項目については、市民に対して市の強み等を理解いただくことで主観指標を底上げしていくことが必要だと考える。一方で、主観指標の偏差値が高く、客観指標の偏差値が低い項目については、将来的には主観指標も下降していく恐れがあると考えられるため、対策を検討すべき。	地域幸福度指標の結果については、計画策定における参考資料として位置付けております。偏差値に関連する対策について、個別具体的には検討しておりませんが、今後総合戦略における成果指標として地域幸福度指標を一部設定することを検討しており、指標推移については引き続き注視してまいります。
22	都市計②	出川委員	1	ロジックモデルの構築の中で、施策1「妊娠期から乳幼児期の切れ目ない支援」の「わたしたちのまちの目指す姿」に「安心して出産できる」という文言を追加されたとのことだが、本市では産婦人科をもつ病院が減少している状況である。施策の中で「新たに病院を誘致する」等の文言も書かれていないが、今後の対応についての検討はあるのか。	本市及び近隣市町での分娩が可能な状況であるため、市独自による病院の誘致施策の実施については現在検討しておりません。
23	都市計②	加藤委員	8	施策8「健康づくりの推進」の実施する主な事業「地域医療体制の充実に関する事業」において、活動指標として「連携会議数」が挙げられているが、会議数が成果に影響を与えるという因果関係は成り立たないのではないか。	委員意見のとおり、変更します。
24	都市計②	永渕委員	4	施策4「学校教育の充実」の実施する主な事業「小学校施設維持管理事業」及び「中学校施設維持管理事業」の活動結果に、学習用タブレットの配備に関する記載があり、「学習環境の満足度」が2次アウトカムとして設定されている。これについては、学習用タブレットを配備しただけでは、満足度が向上するものではないので、ICT教育が教員へ普及し、実際に教育にいかされるよう、施策横断的に連携を取っていくことが重要である。	御意見は総合計画中期基本計画の策定の参考として、所管課とも共有いたします。

No.	区分	発言者	該当施策	御意見内容	回答
25	都市計②	沖本委員	全般	市民アンケート等において、「みんなでスポーツができる機会がほしい。」といった趣旨の意見があるが、市が実施する事業と市民の求めるものにずれがあるのか、又は市民に事業の周知が行き届いていないのかが分からないため、今後回答の意図が分かるようにアンケートを設計してはどうか。	御意見は総合計画中期基本計画の策定の参考として、所管課とも共有いたします。
26	都市計②	加藤会長	32	SNS等については、今後普及するSNS等の入れ替わりの可能性もあるため、その旨を注釈で補足しておく方がよい。	委員意見のとおり、補足します。
27	都市計②	船木委員	全般	産婦人科をもつ病院が少ないとの意見もあったが、近隣自治体を始めとして広域連携も視野に入れ、市民にとって不利益がない状態を目指していただきたい。	御意見は総合計画中期基本計画の策定の参考として、所管課とも共有いたします。
28	都市計②	船木委員	32	最近では市でもインターネットやSNS等を通じて、情報発信を活発にされているが、実際に地域住民から聞くところによると、広報紙から情報を得ている方も多いと感じている。市においても広報紙の有意性については、ご認識いただきたい。	御意見は総合計画中期基本計画の策定の参考として、所管課とも共有いたします。
29	都市計②	沖本委員	20	地域の防災主体として、女性防災リーダーや中学生による防災クラブの役割も重要であると考えため、計画への記載を検討いただきたい。また、これらの地域の主体同士を行政で取りまとめるのは困難であると考えため、市内の防災士と連携を図ってはどうか。	御意見いただきました女性防災リーダーや中学生による防災クラブ、防災士との連携等は、地域主体による防災活動の活性化に対して、有意義なものと考えております。これらに関連することとしては、地域防災計画並びに避難所運営マニュアル等に、災害時の女性を始めとする様々な立場の方への配慮や学校における防災教育に関する方針等として記載しており、必要性を認識しております。 一方で、総合計画はあくまで総論につき、記載内容としましては、性別や年齢に関わらず、「地域防災組織を牽引できる人材の育成」に関して、現状課題として掲載する予定です。
30	都市計②	出川委員	15	モナミホールの跡地利用について、今後の予定があれば、総合計画へ記載できないか。	総合計画はあくまで総論につき、個別の内容については個別計画（香芝市公共施設管理計画）に記載します。

No.	区分	発言者	該当施策	御意見内容	回答
31	都市計②	出川委員	14	ふたかみ文化センターのホールは催事を行うには使いにくい面があると感じており、稼働率の低さに影響していると考えます。 施設の建設や整備については、利用者の要望等踏まえて、検討されたい。	御意見は総合計画中期基本計画の策定の参考として、所管課とも共有いたします。
32	都市計②	中川委員	全般	成果指標で満足度等が多く設定されているが、指標を計測するためにアンケート実施などが必要で、かつ、コストがかかるものは極力避け、すでに既存の仕組みから実績数値が取れるものを優先的に採用すべき。	委員意見を踏まえ、総合計画掲載及び進捗管理に係る評価指標については、既存の仕組みから実績数値が取れるものを優先的に採用します。なお、既存の仕組みから実績数値の抽出が困難な指標については、総合計画策定に係る市民アンケートの設問への追加設定を検討しています。
33	都市計②	中川委員	全般 (21、32)	外部要因の影響度合いが高く、成果指標に向かないものや成果指標として活動指標と思われるものが設定されている施策が見受けられるので、改めて精査いただきたい。 例えば、施策32「情報とICTの利活用」の成果指標にある「積極的に香芝市を選んで転入してきた人の割合」について、施策による直接的な成果以上に地価等の影響が大きいと考えられ、又、施策21「生活安全対策の強化」については犯罪数の減少が直接的な目的なのであれば、成果指標には「刑法犯認知件数」等を設定すべきではないか。	総合計画掲載及び進捗管理に係る評価指標については、素案の作成段階において所管と改めて精査します。 なお、例示いただいております施策32「情報とICTの利活用」の成果指標「積極的に香芝市を選んで転入してきた人の割合」については、委員意見を踏まえ、評価指標から削除します。 施策21「生活安全対策の強化」については、防犯啓発による市民の防犯意識の向上が主な施策目的であるため、提案いただいている「刑法犯認知件数」は事業の成果との因果関係の観点から採用しておりません。